

国保匝瑳市民病院建替整備基本設計等業務委託に係る
公募型プロポーザル審査結果報告書

令和 7 年 5 月

国保匝瑳市民病院建替整備基本設計等業務委託に係る

公募型プロポーザル審査委員会

国保匝瑳市民病院建替整備基本設計等業務委託に係る公募型プロポーザル審査委員会は、国保匝瑳市民病院建替整備基本設計等業務委託に関して、公募型プロポーザル実施要領（令和7年1月14日公表）に基づき、提案内容等の審査を行いましたので、審査結果を報告します。

令和7年5月19日

国保匝瑳市民病院建替整備基本設計等業務委託に係る
公募型プロポーザル審査委員会 委員長 菊地 紀夫

1 審査結果

国保匝瑳市民病院建替整備基本設計等業務委託に係る公募型プロポーザル審査委員会（以下、「審査委員会」という。）は、二次審査を厳正かつ公正に行った結果、次の者を受注候補者及び次点受注候補者に選定しました。

受注候補者 株式会社 横河建築設計事務所

次点受注候補者 株式会社 石本建築事務所

2 審査経過

（1）選定に関する委員会の設置

一次審査を実施する組織には、病院内の幹部職員及び市の関係課長で構成する建設委員会を充て、二次審査については、副市長及び外部有識者も含めた審査委員会を組織して審査を行いました。

また、審査委員会における質疑の充実等のため、自治体病院の運営や病院建設に関して高い識見を有する大学教授及び当院における病院建設のCM（コンストラクション・マネージメント）業務委託法人の理事などをオブザーバーとして選出し、審査委員会への出席を求めました。

(ア) 審査委員会の構成員

役職	所属	職	氏 名	備考
委員長	市民病院	事業管理者	菊地 紀夫	
副委員長	匝瑳市	副市長	長田 篤	
委 員	旭匝瑳医師会	会長	福島 俊之	有識者
委 員	市民病院	病院長	大嶋 博一	
委 員	市民病院	事務局長	鈴木 一弘	
委 員	市民病院	看護部長	渡邊 恵	
委 員	市民病院	医療技術部長	河田 優	
委 員	匝瑳市	建設課長	嶋田 誠人	
委 員	匝瑳市	都市整備課長	林 雅之	

オブザーバー	城西大学経営学部マネジメント総合学科教授	伊関 友伸
オブザーバー	認定NPO法人健康都市活動支援機構理事	岩堀 幸司
オブザーバー	認定NPO法人健康都市活動支援機構事務局長	木澤 慶久
オブザーバー	認定NPO法人健康都市活動支援機構上席研究員	南條 浩毅
オブザーバー	認定NPO法人健康都市活動支援機構上席研究員	赤谷 達哉

(イ) 建設委員会の構成員

委員長	市民病院	事業管理者
副委員長	市民病院	病院長
委 員	市民病院	事務局長
委 員	市民病院	看護部長
委 員	市民病院	副看護部長
委 員	市民病院	医療技術部長
委 員	匝瑳市	建設課長
委 員	匝瑳市	都市整備課長

(2) プロポーザル実施方法等の決定

令和6年12月13日（金）に建設委員会を開催し、国保匝瑳市民病院建替整備基本設計等業務に係る公募型プロポーザル実施要領及び各種様式などについて決定しました。

(3) 実施スケジュール

内 容		日 程
参加受付	プロポーザルの公告	令和7年1月14日(火)
	現病院見学会	令和7年1月21日(火)、 22日(水)
	参加申請に関する質問書の提出期限	令和7年1月28日(火)
	参加申請に関する質問書の回答	令和7年2月4日(火)
	参加申請書の提出期限	令和7年2月10日(月)
一次審査	一次審査(書類審査)	令和7年2月17日(月)
	一次審査結果通知、技術提案書の要請	令和7年2月18日(火)
二次審査	技術提案書作成に関する質問書の提出期限	令和7年2月25日(火)
	技術提案書作成に関する質問書の回答	令和7年3月4日(火)
	技術提案書の提出期限	令和7年4月8日(火)
	二次審査(公開プレゼンテーション及びヒアリング)	令和7年4月27日(日)
	二次審査結果通知	令和7年4月28日(月)

(ア) 公告

令和7年1月14日(火)に国保匝瑳市民病院建替整備基本設計等業務に係る公募型プロポーザルの実施について、国保匝瑳市民病院ホームページに掲載しました。

(イ) 現病院見学会の実施

令和7年1月21日(火)、22日(水)に現病院施設の見学会を実施し、9者が参加しました。

(ウ) 参加申請に関する質疑の提出及び回答

令和7年1月27日(月)、28日(火)に8者から53件の質疑の提出があり、令和7年2月4日(火)に国保匝瑳市民病院ホームページに回答を掲載しました。

(エ) 参加申請書等の提出

令和7年2月13日(木)から2月18日(火)の期間に9者から参加申

請書の提出がありました。

(オ) 一次審査の実施

令和7年2月17日(月)に開催した建設委員会において、9者に対する書類審査を実施し、上位5者を選定しました。

(カ) 一次審査結果通知、技術提案書の要請

令和7年2月18日(火)に一次審査の結果を通知するとともに、一次審査に合格した5者に対し、技術提案書の提出を要請しました。

(キ) 技術提案書作成に関する質問書の提出及び回答

令和7年2月25日(火)に5者から80件の質疑の提出があり、令和7年3月4日(火)に国保匠瑤市民病院ホームページに回答を掲載するとともに、各者へメールで回答しました。

(ク) 技術提案書の提出

令和7年4月8日(火)に5者から技術提案書の提出がありました。

(ケ) 二次審査の実施

令和7年4月27日(日)に審査委員会を開催し、5者から提出された技術提案書に関する審査を公開プレゼンテーション・ヒアリングで実施し、受託候補者及び次点受託候補者を選定しました。

(コ) 二次審査結果通知

令和7年4月28日(月)に二次審査の結果について、各社へ通知するとともに、国保匠瑤市民病院ホームページに公表しました。

3 一次審査及び二次審査の経過

(1) 一次審査の経過

一次審査は、令和7年2月17日(月)に開催した建設委員会において、委員8名全員出席のもと、次の手順で審査を実施しました。

(ア) 参加申込書に記載された各者の病院建設に関する設計施行実績、技術資格者の配置状況、担当者の実績について、70点満点の配点に基づき採点を行いました。

(イ) 各者から提出された「当設計への取り組み姿勢」に関する評価については、各委員が30点満点で評価を行い、委員全員の平均点を持って、各者の得点としました。

(ウ) 上記合計（100点満点）の上位5者を一次審査の通過者として選定しました。

また、一次審査の結果については、二次審査に何ら影響を与えないことを確認しました。

(エ) 一次審査の結果

事業者	A者	B者	C者	D者	E者	F者	G者	H者	I者
得点	84.75	68.875	97.125	77	94.375	93.25	90.5	88.125	93.75
順位	7	9	1	8	2	4	5	6	3
結果	落選	落選	通過	落選	通過	通過	通過	落選	通過

(オ) 審査項目及び評価点

審査項目	審査の視点	審査の基準	配点
事務所の評価	事務所の実績	過去15年間に元請として受託した件数	15点
	当設計への取組姿勢	当病院の状況の理解と取組みに対する姿勢・ポイント（特にコストを守る取組について）	30点
総括責任者及び各主任技術者並びにチームの評価	チームの取組姿勢	本業務に対する担当者の想定従事日数（常勤換算）	10点
	技術資格者の配置	総括責任者及び各主任技術者の経験年数（6人×3点）	18点
		総括責任者及び各主任技術者が有している資格保有状況（6人×2点）	12点
	担当者の実績	総括責任者及び各主任技術者（積算主任技術者を除く）が過去15年間に従事した実績（5人×3点）	15点
合計			100点

(2) 二次審査の経過

二次審査は、令和7年4月27日（日）に開催した審査委員会において、委員9名全員の出席のもと、次の手順で審査を実施しました。

なお、審査委員会のプレゼンテーション及びヒアリングについては、市民

及び市民病院職員に公開して実施しました。

(ア) はじめに、一次審査を通過した5者（新たにアルファベットを付番し、A者、B者、C者、D者、E者とした。）に対し、個別にプレゼンテーション及びヒアリングを実施しました。

プレゼンテーションは、技術提案書等に記載された内容のうち特にアピールしたい点等について25分以内で説明を求め、その後、委員及びオブザーバーとの間で35分間のヒアリング（質疑応答形式）を実施しました。

(イ) 5者のプレゼンテーション及びヒアリングを踏まえ、二次審査における技術提案書の審査項目とその配点（90点満点）に則り、各委員による採点を行い評価点を算出するとともに、提案価格の定量的評価により価格点（10点満点）を算出しました。

結果は、下表のとおりとなりました。

(ウ) 二次審査の結果

評価項目	配点	A者	B者	C者	D者	E者
テーマ1	20	14.44	13.44	14.22	12.56	13.00
テーマ2	20	13.33	10.44	12.44	12.44	11.67
テーマ3	10	7.00	6.44	7.56	6.67	7.44
テーマ4	10	7.00	6.44	7.67	6.78	7.22
テーマ5	10	6.22	5.89	6.56	6.67	6.00
プレゼンテーション	20	13.56	10.78	12.44	13.11	11.78
価格点	10	8.62	9.88	10.00	8.88	8.43
評価点	100	70.17	63.31	70.89	67.11	65.54
順位		2	5	1	3	4

（小数点第2位未満を四捨五入）

※審査委員一人当たり、価格点を除く90点満点による採点を行い、平均値を評価点とした。

※価格点は、本業務に対する各者の見積金額について、下記計算式により採点した。

（価格点）＝ $B/A \times 10$ A＝見積金額 B＝最低見積金額

(エ) 審査項目及び評価点

審査項目	審査の視点	配点
テーマ 1	設計コンセプト、コスト等のリスク管理手法について	20 点
	・ 設計コンセプトについての提案、国保匠瑤市民病院の役割と将来性の理解度 ・ 取組体制 ・ スケジュール管理、コスト管理等のリスク管理手法等についての提案	
テーマ 2	機能的かつ合理的な動線計画など患者及び職員にとって良好な療養及び職場環境の整備	20 点
	・ 配置計画、平面計画についての提案 ・ 運営効率化に基づいた動線計画についての提案 ・ 執務環境、療養環境の工夫についての提案	
テーマ 3	省エネルギー対策、ライフサイクルコストの削減及び DX 等の考え方	10 点
	・ イニシャルコストとランニングコストのバランス（DX 提案を含む）を考えた設備計画についての提案 ・ ZEB Ready 等エネルギー削減比率、ランニングコスト及びメンテナンス費用削減の提案	
テーマ 4	災害対策について	10 点
	・ 感染対策についての建築及び設備の提案 ・ 建設コストを考慮した豪雨水害、その他（地震、火災等）のハザードに対する具体策の提案と配置計画	
テーマ 5	設計者による施工概算金額とその根拠	10 点
	・ 設計提案に対する設計者による施工概算金額（様式による）とその明確な根拠の提示 ・ 施工概算金額を考慮したローコストのための設計提案	
基本設計等業務委託見積書		10 点
・ 適正な価格であるか。		
プレゼンテーション及びヒアリング（発表者の人物評価等）		20 点
・ 説得力のある説明であること。 ・ 真摯でわかり易い対応であること。 ・ 説明者の信頼度		
合計		100 点

(オ) 最後に改めて全委員で評価結果を確認し、審査委員会の総意として、受注候補者にC者、次点受注候補者にA者を選定しました。

なお、選定後、受注候補者のC者（株式会社横河建築設計事務所）及び次点受注候補者のA者（株式会社石本建築事務所）の事業者名について、審査委員に公表しました。

4 審査の講評

(1) 全体講評

このたびの国保匠瑳市民病院基本設計等事業者選定プロポーザルでは、一次審査には9者もの設計事務所に応募していただきました。当院のような規模の小さな病院の建設に対して興味を示していただいたことに大変感謝しています。

すべての設計事務所の提案を拝見したかったところでしたが、審査の都合上、一次審査で5者に絞らせていただきました。技術提案書を提出していただけなかった設計事務所の皆様には申し訳ありませんでした。

5者から提案された技術提案書の内容は、どこも非常にレベルが高く、技術・工夫・意欲が見受けられ、プランも構造も設備もコスト削減案も多様で、審査委員の方々は皆苦労したと聞きました。

本当に充実した審査会となったことについて、参加いただいた設計事務所の皆様に非常に感謝しております。

受注候補者となった、株式会社横河建築設計事務所には、持てる技術力を最大限に発揮されまして、より良い医療環境を提供する新病院の実現に向けて尽力されますよう切に期待します。

(2) 各者講評

①A者からは、12の設計コンセプトに基づき提案がなされました。

1階に外来、検査、放射線などの機能を集中させて、患者に分かりやすいシンプルな回遊動線で結びました。2階の病棟は、H型のフレキシブルなスウィング病棟で、数珠つなぎに連なった病室で構成されており、将来の変更にも対応できる工夫がみられるプランで評価が高かったです。

3階建てのコンパクトかつシンプルな形状で、建築面積を縮小し、基礎躯体数量、柱本数、屋上面積などを削減できることによるコストの縮減や、手術部を最上階に設置することにより他の階の階高を削減、規格品、既製品及び工場生産のユニット化製品の採用によるコストの縮減などの提案もなされました。

プレゼンの説明や質疑対応もわかりやすく高評価でした。

ただし、設備計画は多様な機能が多く費用がかかる提案で、造成・外構工事にも費用がかかることから、建築費が高くなってしまう課題がありました。

個々の提案は素晴らしい内容でしたが、結果として次点となりました。

②B者からは、6つの設計コンセプトに基づき提案がなされました。

正方形のシンプルでコンパクトな建物で、ローコストを目指しつつ、デザイン性の高い提案でした。

1階の外来フロアには、外来ストリートと検査ストリートで患者動線の効率化を図るほか、診察室と検査室を同一の規格で整備することにより、将来的な医療機能の変更に対応できるものとし、また、地域にも開放できる縁側リビングの提案など、特徴的で魅力ある提案がなされました。

1者のみ、3階の病棟フロアについて回廊型としたことや、2階に広く管理部門を配置し、他職種が交流できるスタッフベースの提案についても他社にはない提案でした。

一方で、病棟のスタッフステーションエリアに吹き抜けが多用されていることで使い勝手が悪くなることへの懸念があり、また、駐車場を調整池として一部利用することにより、調整池施設を最小化する提案には、駐車場における車両の水没等に関する不安が聞かれ、賛否が分かれるところとなりました。

さらに、1者のみRC造であったことで、建設費が高くなる要素も感じられました。

③C者からは、6つの設計コンセプトに基づき提案がなされました。

まちの活性化に貢献するコミュニティホスピタルの提案では、地域と新病院をつなぐ、二つの広場（ふれあい広場とまちかど広場）の設置とふれあい広場に隣接して設ける市民利用が可能な会議室を設置する提案がありました。

市民にも開かれた会議室が入り口近くに設置されることの職員利用の使い勝手についての質疑もありましたが、市として駅南側の活性化のための重点施設として新病院を位置づけていることに適合した魅力ある提案でした。

1階の外来フロアは、メディカルストリートとホスピタルストリートにより、スタッフ動線と患者動線が明確に区分され、特に南側の窓に面した明るく開放的なホスピタルストリートの提案は他社にはないものでした。

2階はオーソドックスなH型病棟とし、スタッフステーションから病室までの距離を短縮し、看護動線が短く、スタッフが働きやすいコンパクトな病

棟配置として、工費を削減する提案がなされました。

鉄骨造のロングスパン架構の採用による、柱本数の削減などのイニシャルコストの削減提案や、可変性・更新性に優れた提案も評価されました。

7つの評価項目のうち、6つの項目で上位2位までに位置づけられたことから分かるように、トータルバランスの良さが目立ちました。

さらには、設計費の提案による価格点が最も高かったため、総合評価で最も高くなり受託候補者に選定されました。

④D者からは、4つのコンセプトに基づく提案がなされました。

1階を広くとり、1階への配置が望ましい外来のほか各検査部門を全て配置し、これを中央のホスピタルストリートでつなぐというわかりやすい計画は評価が高いものでした。

一方で、主玄関から外来までの距離が長いことを心配する声もありました。

2階の病棟については、スタッフステーションを中心にL型に病床を配置し患者の見守りに配慮した提案でしたが、スタッフステーションの前を病室ではなく、スタッフ用のスペースとしたことについては賛否がありました。

コスト面の提案では、基本設計の事業費を念頭に置き、コスト意識が高く持たれていることが読み取れるとともに、取組体制やスケジュール管理もしっかりと提案されていました。

プレゼンも質疑対応もわかりやすく、安心して任せられる事務所と評価されましたが、デザイン性で好みが分かれたようでした。

⑤E者からは、2050年を見据えた10の提案がなされました。

唯一の二階建ての提案で、コンパクトながらも病室が工夫された病棟プランと、逆に1階の診療部門・管理部門を非常に広く取る手法が特徴的でしたが、1階の患者待合スペースについて評価が分かれました。

また、主玄関と一体となる地域医療支援棟を本体部分（医療棟）とは別構造として木造の建築物とすることで、木造の温かみのある空間としていることも他者との差別化が図られていました。

2階の病棟については、H型病棟とし、病室内トイレの設置方法を工夫することで、全体に死角のない病室とすることや、2階病棟からの患者避難及び消防隊の侵入経路となるスロープ及び全周バルコニーの設置も他者にはない提案でした。

一方で2階建てで他者の提案と比較して1階面積が大きくなることから、基礎部分の面積が大きくなり、コスト増につながることへの懸念がありまし

た。

また、本体部分を2階建てとしていることで、耐震構造的には木造構造として更なるコストダウンを図ることも可能という提案もあり関心が寄せられましたが、コストダウンの想定額やその根拠が曖昧で説明が不十分であった点が残念でした。

結びに

最後に、本プロポーザルにご参加いただいた皆様には、限られた期間の中で、貴重な時間を費やし、真摯に取り組んでいただきましたことに、心から敬意を表すとともに、今後益々のご活躍とご発展をご祈念申し上げます。